中津川市立阿木高等学校

学 校 長　　纐纈　斗一
学校住所　　中津川市阿木１１９　　電話　0573-63-2243

１　会の名称　　中津川市立阿木高等学校　　学校評議員会（第１回）

２　会の構成　　委　員　　加 藤　里 枝　　阿木保育園長
渡 邉　忠 義　　阿木区長会会長
三 輪　宗 弘　　社会福祉協議会阿木支部長
可 知　幸 作　　交通安全協会阿木支部長
三 宅　邦 彦　　阿木高校育友会会長
（委員名は順不同）

学校側　　纐 纈　斗 一　　校長
工 藤　正 紀　　教頭
太 田　尚 宏　　事務長
佐々木 元 明　　教務主任
藤 井　恵 太　　生徒指導主事
小 池　匡 弥　　進路指導主事

３　会の目的　学校運営等について、地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた学校づくりを推進するため、中津川市立阿木高等学校に学校評議員（以下「評議員」という）を置く。

４　会の開催　令和４年６月７日（火）　　１３：３０～１５：００
阿木高等学校　会議室　委員　出席４名　欠席１名　学校側　出席６名

５　会の概要　授業参観・施設見学を行い、その後、学校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事より、本校の教育内容と生徒の状況等を説明し、評議員からご意見等をいただいた。

６　校長挨拶　新型コロナウイルス感染症の拡大はまだ収束していませんが、政府や専門家からは規制緩和の方針が出されるようになってきました。学校現場としては行事や交流など、感染状況や教育委員会の指針を参考にして出来る限り生徒にとって有意義な活動を計画していきます。この春に卒業した令和3年度卒業生は就職23名、進学5名、家事手伝い１名で全員進路を決定しています。伝統行事の「全校茶園実習」も２年ぶりに開催しました。全校茶園の直前には近隣の阿木小学校３，４年生を招待して茶摘み体験をしていただき、地域との交流を深めました。

昨年度は部活動でソフトテニス部、陸上部が全国大会に出場し、ソフトテニス部は全国大会でベスト４まで勝ち進みました。学校評議員の皆様には本校の教育活動や生徒や職員の様子、地域連携のあり方についても積極的にご意見をいただき、今後の学校運営の参考にさせて頂きたいと思います。

7　学校説明

教　　務：入学時の三修制と四修制の生徒の割合はほぼ半々であるが、２年次と三年次の生徒は三修制の生徒が七割程度を占めています。近年の傾向として入学者については個別の教育支援計画等の特別な支援が必要な生徒の割合が増えています。なぜ阿木高校で学びたいのかという質問に対しては新入生の約半数が「中学校までの学び直しができる」ことを理由に挙げました。

生徒指導：生徒指導面で重視していることは生徒の安心・安全を学校内で保証することです。そのために、生徒個々に寄り添って生徒指導・教育相談・徳弁支援教育を組み合わせ丁寧な支援を心がけています。資格を持った臨床心理士を県費と市費で二人配置し、カウンセリングを継続的に実施して効果を上げています。また、迷惑調査を定期的に実施し、生徒や保護者の声をしっかりと拾い、丁寧に聴き取って、問題があれば組織として解決をしていきます。

進路指導：本校では、昨年度就職率１００％を達成しました。また、近年本校の卒業生は離職率が低く、企業から一定の評価をいただいています。勤務地は恵那市、中津川市を希望する生徒が多い傾向にあります。本校ではキャリア教育に力を入れており、卒業年次の三修制３年生および４年生はキャリアデザインの授業を実施し、就職試験に向けた準備をしています。さらに、全職員による面接指導や外部指導者によるキャリアコンサルティングも行い、充実した進路支援を行っています。

7　懇談会での意見概要

意見１：中津川市役所で勤務後、ワークサポートセンターで勤務しています。また、実家が阿木駅近くで商店を経営しているので、阿木高校の生徒ともよく話をしている。授業を参観させていただき、丁寧で親切な先生が多いようで安心しました。先生方が、自信のない子どもたちに自信を付けさせて社会に出していることを実感しました。

意見２：私が驚いたことは私に息子（長男）がこの学校にお世話になった２０年前より格段に授業の質や学校内の施設が良くなっています。息子は就職後、すぐに会社を辞めて転職したので、生徒には後悔しないように自分に合った就職先を

選択してもらいたいと思う。

意見３：地元の阿木高校の生徒が昨年度お米甲子園金賞を獲得したことは大変誇らしい。こういった実勢を継続していくことが大きな力になると思います。私が最もすごいと感じたことは少人数指導で丁寧に先生方が生徒に支援していることで、その熱意が生徒にも確実に伝わっていることだと思います。

意見４：近年の入学者の傾向として中学時代特別支援学級に在籍していた生徒の比率が高いようですが、自分の息子もこの阿木高校が大好きで楽しんで毎日登校しています。中学時代に特別支援学級で学んでいたり、あまり活躍できていなかった生徒が、この学校でチャンスをもらい、活躍することがあります。これもこの阿木高校の存在価値の一つです。就職率も１００％になっている点も中学校や受験生の保護者にもっとアピールできるのではないでしょうか。また、ドローンを使ったスマート農業など時代の流れに敏感なところもアピール材料になると思います。

「学校評議員会のまとめ」として
（学校長より）

学校評議員の皆さん、貴重なご意見、ご感想ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症が現在も収束しておらず、通常通りの学校行事を行うにはもう少し時間がかかると思いますが、修学旅行や芸術鑑賞等生徒にとって必要な行事は工夫しながら何とか実施していく方向で考えています。本校の役割として社会に出る前の最後の学び直しの機会を生徒に与え、昼間定時制として生徒の成長に合わせたあゆみを保障することはもちろん、専門高校（農業・家庭）としての特徴をアピールし、着実に力を付けさせたいと考えています。また、地域からの期待に応えられる学校として存在価値を高めていきたいと思います。今後ともご指導、ご助言をよろしくお願いします。